



6/8 いざYOSAKOIへ
くりやまOH!!夢乱咲出陣式
第26回YOSAKOIソーラン祭りに出場する「くりやまOH!!夢乱咲」の出陣式が町スポーツセンターで行われました。19回目の参加となる今年のテーマは「粋跳羽轟」。堀文彦代表は「今年も札幌の地で栗山町をPRできるように頑張ります」とあいさつし、南條宏教育長は「町の代表として、一杯のびのびと優雅に踊っててください」と激励しました。この後、大勢の観衆の前で新曲「粋跳羽轟」を披露。艶美火舞羅の太鼓と華麗な踊りの共演に大きな拍手が送られました。

6/9 昔の写真を展示
開拓記念館で特別展
町開拓記念館で特別展「古写真で見る昔の栗山展」が始まっています。昔の写真を見て当時の様子などを振り返ってもらおうと、当館が所蔵する昔の役場や町内の写真など36点を展示。同館の南紘研究員は「当時の貴重な写真をたくさんの人に見てほしいです」と話していました。

◆期 間
7月23日(日)まで
午前10時～午後4時
◆場所・問い合わせ
町開拓記念館
☎6035



6/14 全校生徒が町内を清掃
栗山高校
奉仕活動を通して地域貢献を体感しようと、栗山高校が町内の清掃活動を行いました。今年も全校生徒188人が参加。学年ごとに担当ルートを決め、火ばさみを手にはりながら、プラスチック容器や空き缶などを拾い集めながら、役場庁舎までの道のりを約1時間かけて清掃しました。生徒会長の渡邊堅心さんは「場所によって落ちていくごみが違っていたので驚きました。一人ひとりがごみを見つけたら拾う意識を持つことが大事だと思いました」と話していました。

6/14 喫煙者のイメージアップを
スモークンクリーン
栗山たばこ婦人部が、喫煙者のマナー向上を目的としたスモークンクリーンキャンペーンを行いました。同部員と関係者ら11人はお揃いの緑色のエプロンと帽子を身に付け、約1時間かけて駅前通り商店街から役場までの歩道を清掃。たばこの吸殻やごみなどを火ばさみで拾い集めました。藤田敦子部長は「駐車場に多くのごみがありました」と話し、佐々木学副町長は「喫煙者のイメージアップを図るため、ぜひ来年以降も継続していただきたい」と感謝していました。



5/27 栗山監督を応援しよう!
栗の樹ファームの整備
北海道日本ハムファイターズの栗山英樹監督が、今年も栗山町で心を癒やしてもらえようように、「栗さんのおかげです事業」の第1弾として、湯地にある栗の樹ファームの整備が行われました。「栗さんのおかげです事業」は今回が11回目で、北海道日本ハムファイターズを応援する栗山の会など約30人のボランティアが参加。当日はあいにくの天気となりましたが、参加者はバックネット付近の土の移動やグラウンドの草とり、花壇整備など約2時間かけて汗を流しました。

5/28 楽しんでもらえる場に
継立地区で果樹の植樹・整備
継立住民の憩いの場である「つぎたてふれあい広場」に隣接する「果樹の森」で植樹・整備活動が行われました。フルーツパークにすることを目的に継立商工振興会が主催して今年で11回目。当日は、同振興会会員のほか栗山商工会議所青年部の部員など約20人が参加し、あんずの木の植樹や果樹への防除などを行いました。伊藤三也会長は「これからも、地域の皆さんが集まって楽しんでもらえる場になるように管理をしていきます」と話していました。



5/28 花と緑に囲まれた町並み目指して
花いっぱい運動
町社会福祉協議会や栗山青年会議所などが提唱する恒例の花いっぱい運動が行われました。花と緑に囲まれた、美しい素敵な町並みを目指すことを目的に毎年実施し、今年で41回目。当日は、早朝から町内各地でマリゴールド、ペチュニア、ブルーサルビアなど約21000本の花苗が公園や街路の花壇、中央分離帯などに丁寧に植えられ、美しい景観が出来上がりました。

6/6 椿原町長が特別講義
介護福祉学校
町立北海道介護福祉学校で椿原昭町長を臨時講師とした特別講義が行われました。椿原町長は「福祉のまち栗山」と題して、情報共有・町民参加のまちづくりや福祉の取り組みについて、これまで行ってきた内容を交えて講義。受講した1年生38人は、メモを取りながら90分の講義を熱心に聴き入っていました。椿原町長は「福祉サービスの担い手だけにとどまらず、地域全体の担い手として活躍してほしい」と締めくくりました。



景色 お披露目

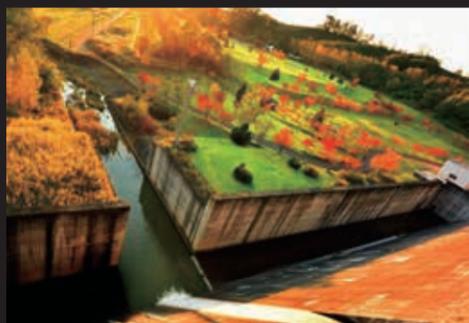
とっておきの



季節賞 春
「雪曇」(撮影地 栗山公園)
山崎 秀和(苫小牧市)



季節賞 夏
「夏の終わり」(撮影地 駅前通り)
柴田 奈穂(栗山町)



季節賞 秋
「特等席」(撮影地 栗山ダム)
山内 佳子(札幌市)

季節賞 冬
「RIVER」(撮影地 角田)
近藤 俊六(江別市)



グランプリ 「収穫の頃」柳渡 利雄(岩見沢市)

(作品の紹介)

朝日で薄いオレンジ色に輝く霧が周囲をうっすらと覆う中、
畑で農業機械が収穫作業をする秋の農村風景。

(撮影地:湯地)



受賞者の皆さん。おめでとうございます。

第3回

くりやま景観 フォトコン

入賞作品紹介

ふるさと景観の新たな発見

ふるさと景観の新たな良
さを見つけようと昨年5月
以降に町内で撮影された作
品を募集したところ、小学
1年生から80代までの75人
から計145点の作品が集
まりました。その中から
入賞作品を決定し、6月
11日にカルチャープラザ
「Eki」で表彰式を開催
しました。

表彰式で佐々木学副町長
は「どれも素晴らしい作品
ばかり。美しい景観を後世
に引き継いでいきたい」と
講評。初出品でグランプリ
に輝いた柳渡利雄さん(岩
見沢市)は「色合いや構図
など大好きな農村風景をイ
メージ通りに撮ることがで
きて良かったです」と喜び
を語りました。

※紙面の都合上、入賞作品の
一部を掲載しています。そ
の他の入賞作品は、町ホー
ムページでご覧いただくこ
とができます。
トップページ↓「観光・魅
力」↓「イベント」



準グランプリ
「フスタルジックシンメトリー」(撮影地 小林酒造)
平出 美穂(札幌市)